

「皮膚科の臨床」次号予告 第62巻 第13号(2020年12月増大号)

特集 ◆接触皮膚炎のマネージメント

(総説)

1. 接触皮膚炎診療ガイドラインのポイント……………高山かおる

2. 接触皮膚炎の原因を見抜くために

1) 原因推測のための問診・触診・視診のコツ……………伊藤 明子

2) パッチテストを使いこなそう！……………関東 裕美

3) Japanese standard allergens series とは？……………鈴木加余子

3. 頻度の高い接触皮膚炎の原因とその対処

1) 日用品（化粧品，頭髮用品など）……………鷺崎久美子

2) 医原性（薬剤，医療材料，医療機器）……………飯島 茂子

3) 職業性（美容師など）……………西岡 和恵ほか

4) 金属アレルギーの診断方法，様々な表現型の特徴および治療について……………足立 厚子

5) 植物，食物……………藤本 和久

(症例報告)

ジブカイン塩酸塩によるアレルギー性接触皮膚炎の2例……………飯島 茂子ほか

Squaric Acid Dibutylester 感作部に生じた難治性結節の2例……………佐藤 一正ほか

ルリコナゾール外用薬およびラノコナゾール外用薬の交叉反応による

接触皮膚炎の1例……………井上 円ほか

オラネキシジングルコン酸塩によるアレルギー性接触皮膚炎の1例……………桑折 信重ほか

クリンダマイシン含有ゲルによるアレルギー性接触皮膚炎の1例……………五十嵐由美ほか

緑内障治療薬による接触皮膚炎……………日野 治子ほか

複数の一般用医薬品に配合された1,3-ブチレングリコールによる

アレルギー性接触皮膚炎の1例……………神崎 美玲ほか

圧造加工油による職業性接触皮膚炎の1例……………神崎 美玲ほか

(都合により掲載論文が変更になる場合がありますので御了承ください。)